



# 二俣川小だより

横浜市立二俣川小学校 令和3年10月27日

11月号

校長 泉 太郎



校長 泉 太郎

まさに「芸術の秋」でしょうか、校長室で仕事をしていると、「二小音楽会」に向けて練習に取り組む演奏が聴こえてくるようになりました。毎日聴いていると、だんだんと楽器の音色の重なりがきれいで滑らかな演奏になっていくのが分かります。よく「〇〇の秋」といわれます。25日(月)の朝会で話題にしてみました。わたしが目にした「〇〇の秋といえば？」のアンケート結果では、1位…食欲、2位…読書、3位…スポーツ、4位…芸術となっていました。食欲は給食や家庭科、読書は国語や読書活動、スポーツは体育やクラブ活動、芸術は図工や音楽など、学校での活動に結びつきます。様々な活動を通して子どもたちにとって「実りの秋」となるよう、成長を支えていきたいと思えます。



## 全校遠足、楽しい一日になることを願って

緊急事態宣言が解除され約1か月。新型コロナウイルス感染症の新規感染者も減少傾向にあります。学校の教育活動も引き続き感染症対策に十分気をつけながらも、取り組めることが増えていくとよいと思えます。全校遠足もその一つで、残念ながら10月22日(金)は雨天のため延期としましたが、今週末29日(金)に実施予定です。二俣川小学校の特色ある取組の一つとして、1年生から6年生までが一つのグループとなり活動する「なかよし活動」があります。全校遠足はそのグループでこども自然公園(大池公園)まで行き、ウォークラリーをし、昼食を食べます。6年生がリーダーとして中心になり活動を進めます。18日(月)の事前の活動では、全校遠足について分かりやすく説明したり、やさしく声をかけ活動をサポートしたりするなど、1年生から5年生をしっかりとまとめ活動していました。「立場が人を育てる」と言われますが、

遠足に向けてのなかよし活動を中心となり進める6年生。



優しく丁寧に声をかけ、1年生から5年生をサポートします。

普段はなんとなく物静かだったり控えめだったりする子どもでも、私たち教師がびっくりするほどのリーダーシップを発揮することがあります。コロナ禍の中、最高学年として活躍する場面が少なかった6年生ですが、この全校遠足が力を発揮するよい機会になることを期待しています。そして、1年生から6年生まで全員が、運動会以来久しぶりの全校での行事を楽しむことができるとよいと思えます。ご家庭には引き続きの体調管理や延期による2度のお弁当作りなどご負担をおかけしますが、よろしくお願ひします。